

2つの個性的なロッジに2連泊

塩の大地ウユニ塩湖とチチカカ湖に浮かぶ太陽の島

青い空と白い大地が続くウユニ塩湖

南米ボリビアにあるウユニ塩湖は、四国の半分ほどの面積を持つ世界最大の塩の湖です。4月から10月の乾期には湖の水が蒸発し、見渡す限りの白い大地が現れます。ここは、かつて海底が隆起した際に海水が流れ出る場所がなかったために、蓄えられた海水が蒸発して塩湖となった世界でも珍しい場所です。果てしなく続く広大な塩の大地に立つと、このままどこまでも歩いて行けそうな錯覚になるから不思議です。床や天井、壁などが塩でできた塩のホテルの滞在も忘れられない思い出となるでしょう。

ウユニ塩湖の中心インカ・ワシ島へ!

ウユニ塩湖にあるいくつかの島のうち、唯一上陸できるのがインカ・ワシ島です。1時間ほど歩いて高台に登ると、360度見渡す限りに真っ白な世界が広がる大絶景を堪能できます。島は珊瑚の化石に覆われていて、かつてこの地が海底だったことが確認できます。また、島に自生している巨大なサボテンが独特の景観を生み出しています。雨期は水位が高くなって行けない場合もあるため、乾期にこそお楽しみいただける場所です。

チチカカ湖の太陽の島でのんびり滞在

ボリビアとペルーの国境に位置するチチカカ湖は、標高約3,810mの高地にあり、琵琶



▲どこまでもまっ白な塩の大地が広がる乾期のウユニ塩湖

湖の10倍以上の面積を誇ります。このチチカカ湖には、インカ帝国の発祥の地ともされる太陽の島があり、インカ時代から利用されてきた段々畑でジャガイモやキヌアが栽培されています。驚くことに、島には道路も自動車もなく、騒音や公害とは無縁のゆったりとした時間が流れています。カラフルな民族衣装を纏った女性たちが行き交う光景は、私たちが想像する南米らしい風景です。

環境に配慮したエコ・ロッジに2連泊

太陽の島では、エコロッジにゆったり2連泊して島の滞在を楽しみます。部屋やシャワーは太陽熱で温められ、廃棄食材は肥料

にするなど環境に優しいロッジです。また、ロッジでいただく地産地消の食事はどれも美味しく好評です。5月～9月の乾期は、湖越しに雪を抱いたリアル山脈が見渡せる可能性が高く、山岳展望も期待できます。



▲民族衣装を纏った女性たちが行き交いのどかな風景が広がる太陽の島